

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>0 建築物の環境品質・性能</b>									<b>3.4</b>
<b>Q-1 室内環境</b>								<b>0.40</b>	<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>									<b>2.8</b>
1.1 騒音									<b>2.0</b>
1 暗騒音レベル									2.0
2 設備騒音対策									-
1.2 遮音									<b>4.1</b>
1 開口部遮音性能									5.0
2 界壁遮音性能									3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									4.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									4.0
1.3 吸音									<b>2.0</b>
2 温熱環境									<b>3.8</b>
2.1 室温制御									<b>3.8</b>
1 室温設定									3.0
2 負荷変動・追従制御性									-
3 外皮性能									5.0
4 ソーン別制御性									3.0
5 温度・湿度制御									-
6 個別制御									-
7 時間外空調に対する配慮									-
8 監視システム									-
2.2 湿度制御									<b>2.0</b>
2.3 空調方式									<b>5.0</b>
3 光・視環境									<b>3.4</b>
3.1 昼光利用									<b>4.6</b>
1 昼光率									5.0
2 方位別開口									-
3 昼光利用設備									4.0
3.2 グレア対策									<b>3.0</b>
1 照明器具のグレア									-
2 昼光制御									3.0
3.3 照度									<b>3.0</b>
1 照度									3.0
2 照度均斉度									-
3.4 照明制御									<b>3.0</b>
4 空気環境									<b>3.8</b>
4.1 発生源対策									<b>5.0</b>
1 化学物質汚染									5.0
2 アスベスト対策									-
3 ダニ・カビ等									-
4 レジオネラ対策									-
4.2 換気									<b>2.3</b>
1 換気量									3.0
2 自然換気性能									1.0
3 取り入れ外気への配慮									3.0
4 給気計画									-
4.3 運用管理									<b>3.0</b>
1 CO <sub>2</sub> の監視									1.0
2 喫煙の制御									5.0
Q-2 サービス性能									<b>3.3</b>
1 機能性									<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ									<b>4.0</b>
1 広さ・収納性									3.0
2 高度情報通信設備対応									3.0
3 バリアフリー計画									4.0
1.2 心理性・快適性									<b>2.0</b>
1 広さ感・景観									1.0
2 リフレッシュスペース									3.0
3 内装計画									3.0
2 耐用性・信頼性									<b>3.5</b>
2.1 耐震・免震									<b>3.8</b>
1 耐震性									4.0
2 免震・制振性能									3.0
2.2 部品・部材の耐用年数									<b>3.0</b>
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									3.0
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									3.0
3 配管・配線材の更新必要間隔									3.0
4 主要設備機器の更新必要間隔									3.0
2.3 適切な更新									-
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									-
2 配管・配線材の更新									-
3 主要設備機器の更新									-
2.4 信頼性									<b>4.0</b>
1 空調・換気設備									5.0
2 給排水・衛生設備									4.0
3 電気設備									3.0
4 機械・配管支持方法									4.0
5 通信・情報設備									4.0

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.3</b>	0.29	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>3.4</b>	0.31	-	-	
1 階高のゆとり					3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ				壁長さ比率=0.22	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				2900N/m <sup>2</sup>	<b>4.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>					<b>2.7</b>	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性					1.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					2.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性				ケーブルラックによる配線及び点検口により更新性に配慮。	5.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		G			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		G		建物の配置計画、緑地・植栽計画、地域・歴史性のあるレンガの採用	<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					<b>4.5</b>	0.40	-	-	<b>4.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	ビロティ、地域交流スペース、吹抜空間、見通しの良い平面構成。	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		風を導く配置・形状計画、植栽・緑地計画、中高木の植栽やビロティ	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	-	-	-	<b>3.9</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.7</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>	W			PAL値:197.6	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>					<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W			体育館のナイトバージ、室奥へ光を導く縦型庇、トップライト	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W	S		太陽光パネル、ペレットボイラーの採用	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>	W			高効率空調機、高効率照明器具の採用	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>					<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
4.1 モニタリング	W			中央監視設備によりエネルギー消費の把握・分析が可能	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 水資源保護</b>					<b>3.6</b>	0.15	-	-	<b>3.6</b>
1.1 節水	W			自動水栓洗面器、節水FV大便器、センサー自動小便器、一部擬音装置	<b>4.0</b>	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
<b>2 低環境負荷材</b>					<b>4.1</b>	0.85	-	-	<b>4.1</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>4.6</b>	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W			主要構造体に電炉鋼・高炉セメントを用いている。	5.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W			階段滑り止め、デッキ材	4.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W			遺産材を積極的に採用	<b>4.0</b>	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			有害物質を含まない材料を積極的に採用	<b>4.0</b>	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W			躯体と仕上材が容易に分別可能。内装材と設備の分離が容易	<b>5.0</b>	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.3</b>	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤使用なし	4.0	0.33	-	-	
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-	
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 大気汚染防止</b>	W				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-	
2.2 振動					-	-	-	-	
2.3 悪臭					-	-	-	-	
<b>3 風害、日照障害の抑制</b>					<b>2.6</b>	0.10	-	-	<b>2.6</b>
3.1 風害の抑制					2.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制				日影規制に対し、ワンランク上の基準を満たす	4.0	0.30	-	-	
<b>4 光害の抑制</b>				照明設備チェックリストを満たし、広告塔がない	<b>4.0</b>	0.05	-	-	<b>4.0</b>
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>					<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W			流出係数=0.58であり、0.6以下のため	5.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		学校	-	-	-	面積按分 総合スコア
		9,154 m <sup>2</sup>	-	-	-	
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>		<b>5.0</b>	-	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 設備システムのERRIによる評価</b>		<b>5.0</b>	-	-	-	<b>5</b>
<b>高効率化</b>	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1 空調設備		5.0	-	-	-	
3.2 換気設備		3.0	-	-	-	
3.3 照明設備		5.0	-	-	-	
3.4 給湯設備		-	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	